北九州市立門司海青小学校　学校通信２月　第２７号　平成２５年２月１５日（金）

学校教育目標　やさしく、たくましい子どもの育成（やさしく、たくましく）

よく学ぶ　よく遊ぶ　明るくあいさつ　黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833　門司区清滝5-3-21　TEL 331-1708　FAX 331-1709　　校長　三栗谷　進

２月２０日（水）に今年度最後の授業参観・学級懇談会があります。寒いとは思いますが、たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

２月も中旬を迎え、今年度も残すところわずかになりました。最後のまとめに向けてしっかりと取り組んで参ります。

授 業 参 観
子どもが見ています親の姿！

２０日は今年度最後の授業参観です。今年度も多くの授業参観等の公開機会を設け、保護者や地域の皆様に学校の様子をご覧いただきました。

ある会議が終わって話をしていると、授業参観の話になりました。その内容は以下のようなものでした。

> 授業参観の時、参加させてもらいました。子ども達は一生懸命に勉強をしていましたが、一つ気になることがありました…。
> 教室に入って授業の様子を見ている方や兄弟の学級を行ったり来たりしている方が多いのですが、残念だったのは、廊下で話をしていて、授業を見ていない方がいたことです。色々と積もり積もった話があるのでしょうが、せっかく子どもの授業の様子を見に来ているのに、もったいないなあと感じたのです。子どもはきっと「お家の人は来ているかな。自分が頑張っているところを見てくれているかな。」と思っていることでしょう。また、授業参観での話題は、親と子どもで話ができる絶好のチャンスだと思うんです。

さて、皆様はどのようにお感じになりましたか。お話をされた方が、ご覧になったちょうどその時に、前述のような様子が見られたのかもしれません。しかし、子どもの気持ちを考えると、一理あるなと感じました。

また、ある研修会で以下のようなお話を聞きました。

> 子どもが、今まででは考えられないような殺人事件を起こしている。原因などを考えると、子どもの生育歴、特に『２歳から２歳半が鍵』という結論にたどり着いた。
> この時期に１００％受容されて育つと、人を信頼することができるようになる。人を信頼することができると、自立・自律できるようになるのである。
> そこで、２歳から２歳半の間に『抱きしめる』『何度も名前を呼ぶ』などのかかわりをたっぷりとることが必要である。そのかかわりの中で、脳に３つの芽を育むのである。３つの芽とは、「①正しい判断」「②暴力否定」「③情操」である。
> もし、子どもに「受容」→「信頼」の経験が少ない場合は、いわゆる赤ちゃん返りをして、その経験を求めくる。その時は、甘やかしてよいのである。
> さて、「情操」は、氷山の一角に隠れた見えにくい部分である。氷山の見える部分はいわゆる『知；ＩＱ』であり、見えない部分は『情操；ＥＱ（ＥＱとは、自分の感情（Emotion）を上手にコントロールする能力）』である。知識が豊かであれば必ず幸せになれるかというと、そうとも言えない。しかし、情操が豊かであれば、必ず幸せになれるのである。
> 樹に例えるなら、幼児期は根っこであり、義務教育期間は幹である。根がしっかりと地に張っていなければ、すくすくとは育たない。
> まさに、『根を養えば、樹は自ら育つ』のである。
> 【外松　太恵子様の講話から】

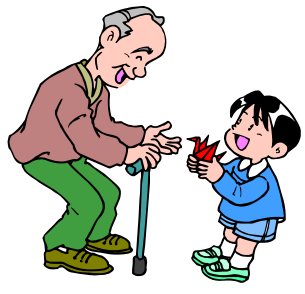
上記の話を聞きながら、幼児期の大切さがよくわかりました。しかし私は、「情操」という観点から、小学校の６年間も子どもの成長の中で、同じように大切にしなければならないのではないかと考えたのです。『抱きしめる』『何度も名前を呼ぶ』などのかかわりは、小学校の時期までしかできないのかなあと考えたからです。中学生になっても同様のかかわりが必要であれば、それはそれで心配です。

家庭教育の大切さや大人の規範意識の向上などは、耳にタコができるほどお聞きになっていると思います。しかし、日常の気にも留めない小さな事が、子どもの情操育成に計り知れないほど大きな影響を与えているのではないでしょうか。その一つが、この授業参観での様子だったのかもしれません。

今度の授業参観では、どうぞ子どもに目を配り、どんな様子だったのか、どんなことを頑張っていたのか、しっかりと見取ってください。そして、ぜひお子様と話し合ってください。

また、持久走大会や運動会は勝敗や順位が付いてくるので、どうしてもそこに目がいきがちとなります。「勝ったか負けたか」「何位だったか」ということ以外にも、「昨日の自分よりも記録を伸ばす」「苦しさに打ち勝つ」「最後まで頑張り抜く」「友達の頑張りを応援する」など、子どもへの声かけは色々と広がるはずです。

自分の頑張っていることを保護者の方と話し合えることは、子どもにとっては『抱きしめられる』『何度も名前を呼ばれる』ことと同じように、『受容』、『信頼』されている自分を感じ取ることができる思うのです。きっと、心に染み込む会話ができるでしょう。



情操を育むことは、心を育むことです。優しい気持ち、思いやりの気持ち、温かい気持ちなどが、心いっぱいに膨らんでいくとうれしいですね。

今年度最後の授業参観、
お待ちしています。